

シェイクハンド協働委員会では、地域社会において「豊かさ」を実現するには「手を握る＝シェイクハンド」が重要であると考え、各種団体との協働事業、また、多様な方々にご参加頂ける事業を展開しました。6月には、市内在住外国人の方達を含めた地域コミュニティ創造の為、スポーツ交流やパネルディスカッションを開催し、「friendly neighborhood＝人情に厚い近所の人たち」メンバーを募り、10月には、市民の行政への関心、参画意識を呼び起こす為、「市長選挙における公開討論会」を開催しました。

6月第一例会においては、例会前に、その他事業として「friendly neighborhood みんなでフットサル2」を、在住外国人の方々とのスポーツ交流を体験し、「地域で出来る国際交流」の楽しさを感じて頂くことを目的として開催しました。国籍を問わず、女性や子供も皆が手を繋ぎ、笑顔で抱き合う姿は印象的であり、多くの出身国の方にご参加頂いたことは、浦安というまちの豊かさであると感じました。そして、6月第一例会「friendly neighborhood シンポジウム」においては、「多様な文化と人がともに支え創造するまち浦安」をテーマに、講演会とパネルディスカッションを開催しました。講演会講師には奥寺康彦氏をお招きし、パネルディスカッションにおいては、国外出身の浦安在住者や、市内関係各所の方々をお招きし、ディスカッション形式（5名のパネリスト）で「私たちから見た浦安の印象や要望」について討議しました。多様な意見を聞くことにより、日本人から見る日常生活だけではなく、様々な角度から「我がまち浦安」を見つめることが出来ました。また、両事業を通じて「friendly neighborhood」の取組みについての紹介、登録を希望する方々への説明を行いました。

10月第一例会においては、浦安市長選挙を前に、立候補予定者による「浦安市長選挙 公開討論会」を開催しました。立候補予定者の方々に本音で政策を語って頂き、有権者にとって政治をより身近なものとして捉えて頂くことで、投票の際の選択材料にして頂きかつ前回よりも投票率を上げることを目的として開催しました。討論会の模様はインターネットを活用してのLive配信、および以降の録画配信を実施することにより、市民への公開を促進しました。選挙投票率は、前回45.71%に対し、今回45.06%で-0.65ポイントという結果でしたが、公開討論会については、会場定員数300名を上回るご来場を頂くと共に、ネットLive映像や録画映像で約2000件の方にご観覧頂き、浦安青年会議所の活動認知にも貢献出来たのではないかと考えます。

二例会とも多くの市民の皆様にご参加頂くことが出来、また、両事業が無事に開催することが出来たのも、青年会議所メンバー、そして、OB・OGの皆様、また、ご協力を頂いた関係諸団体の皆様のおかげです。この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。